

鹿児島県から改良用の和牛雌子牛を導入

4 月 27 日、和牛の主産地である鹿児島県から 8～9 か月齢の雌の子牛 8 頭を導入しました。

導入した子牛は、父に「隆之国」などを持つ全国でもトップクラスの血統で、今後 4 箇月ほどの育成期間を経て、改良基礎雌牛として受精卵を府内に供給するとともに、来夏には子牛を出産させ、優秀な和牛の増頭に貢献することを期待しています。



優秀な和牛増頭への貢献が期待される導入牛たち